

事業報告

みどりデイサービス

H29年度は利用者様が年間で19名お亡くなりになり、9名が施設入居され、一日平均利用者数が31名から27名に減少となりました。その都度新規利用者様を獲得してきましたが、引き続き当センターの取り組み・行事計画等を記載した「みどりデイサービス通信」を発行し、今まで以上に他事業所を訪問し、体験及び紹介を勧めて頂ける様取り組みます。

利用者様の入浴前後の時間には、脳トレ・塗り絵・貼り絵・職員と一緒にやるゲーム・利用者様との会話・コミュニケーションに力を入れて取り組んでおります。

利用者への接遇・施設内の装飾・行事計画内容を工夫し、利用者様に満足して頂ける様職員一同努力します。

日々変化される利用者様の状態把握に努め、職員間での情報共有をしっかりと行い転倒・事故防止に努めます。

グループホーム みどり

H29年度は4名の退所がありました。1名は入所後間もなく状態が悪くなり、御家族様の希望にて24時間泊まりながら付き添って頂きました。御家族様からは「最期まで看取る事ができて良かったです」との事でした。普段から入居者様の様子を小まめに報告し、御家族様の希望に出来る限り応えられる様にしていきたいと思っております。

今年度は1件の転倒事故が発生してしまいました。歩行は自立されている方の為、最後まで付き添い、確認しなかった事が原因です。歩行が不安定な方や体調を崩している方を気にかける事は勿論ですが、普段自立している方や体調が安定している方は「大丈夫だろう」と過信してしまう為、特に注意して対応していきます。

入居者様一人一人のADL等の状態に合わせ、個別の外出や玄関前での外気浴を行い、個々の希望に出来るだけ沿った対応を心掛けています。

ホーム内の消毒・食事前の手洗いや手指の消毒・面会者への手指の消毒をお願いした為、入居者様の感染症の発症はありませんでした。今後も細心の注意を払い、予防に努めます。

日中、夜間を想定し避難訓練を行い、避難方法の確認を行うと共に、防災について意識を高め、安全面の強化を図ります。

元気町デイサービス

職員の退職による人員不足と日曜日の利用人数が少ない事から、H29年度4月より日曜日を定休日とする事で職員の基準人数を満たし、昨年度に引き続き利用者様一人一人に寄り添ったサービス提供と、リラクゼーション効果を目的とした取り組み・環境整備に努め、苦情等に繋がらない様に業務を行いました。

利用者様のADL（日常生活動作）・BPSD（認知症による周辺行動）の低下等により、利用者様全体の7割の方が介護度4・5を占めております。又、高齢により体調を崩され長期休止となる事も多い為、一人一人の心身機能の状態把握に努めると共に、変化に合わせた対応を行っています。

H29年度より、年2回の運営推進会議を行う事になり、構成員（町会長・民生委員・市職員・利用者様・御家族様・施設職員）にお知らせして集って頂き、運営の透明性やサービスの質の向上・地域との交流・連携の確保を目的として開催しました。構成員の方々には、サービス内容や取り組み等に対してご理解頂き、又、市職員様により、地域交流を主体とした活動も、今後より積極的に実施して欲しいとの要望もあり、検討していきます。

今年度のヒヤリハット件数は5件発生しており、転倒2件（トイレ内でのふらつきと移乗介助時バランスを崩し転倒）、尿道カテーテル抜去3件（入浴時のオムツ交換時）です。尿道カテーテル抜去については3件共尿管を外す際、カテーテルを巻き込み一緒に引っ張ってしまうといった確認不足による発生であり、再発防止に向け職員間の声掛け・確認をして予防に努めています。

5件共、一つ一つのサービスを丁寧に行う事で防ぐ事が出来た為、全職員に周知すると共に勉強会等を通じて、ヒヤリハット等が発生しない様に取組んでいきます。

行事では年間を通じて季節を大切に、外出行事や施設内の装飾・昼食提供を行いました。年々機能低下により、行事への参加が困難な方が増えていますが、より多くの利用者様が参加して頂ける様工夫をしています。又、一日一日を楽しく過ごして頂ける様に働きかけると共に当施設の利用を楽しみに、生きがいにして頂ける様、サービス提供に努めます。

H29年度は利用延べ人数減少となってしまいましたが、今後新規獲得に向けての取り組みを行うと共に、真心を込めて一つ一つ丁寧なサービス提供に努めます。

玉松ホーム

玉松ホームでは、9月1日より介護支援専門員に武井良子さんが勤務されています。新しい業務も増えて、施設長は蓬田村社会福祉協議会の評議員になり会議に出席させて頂いています。

また、介護支援専門員はH30年度より始動する蓬田村での新事業で村内の居宅・施設等を訪問し、認定調査をする認定調査員の協力依頼があり契約しました。

空室状況を少なくする為に、蓬田村地域包括支援センター主催のケア会議に出席し、蓬田村内の介護の状況を把握しています。蓬田村内外の各施設等を訪問し、情報収集に努めています。

入居者様の安全・安心した生活を送って頂く為に、予防接種や医療機関への連絡を速やかに行い対応にあたっています。インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症の感染は今年もありませんでした。

年間行事として季節に合った工夫を凝らした装飾を心掛けています。施設慰問で来所される方々より笑顔・喜びを沢山頂いています。蓬田村内では読み聞かせの会様、蓬田村外では喜劇の金多舞次郎様、楽器演奏者の楽団ふとり様の方々に感謝し、これからも続けていきたいと思えます。

スタッフは一人年一回外部の研修を受講している他、まちだグループ内の研修へ参加しています。研修した事を今後の介護に役立てていきます。

かもめデイサービス

H30年3月21日にお陰様で6周年を迎えました。4月より料金改正により収入が減算となりますが、今後も利用者様一人一人の声に耳を傾けコミュニケーションを図り、御家族様・ケアマネージャーと連携を取りながら満足頂けるサービスを提供していきたいと思っております。

高齢化に伴い機能低下も見られ、歩行不安定な方も多くなっていますので、レクリエーションでは機能低下を防ぐ為、音楽に合わせた体操やボールを使った体操等、楽しく出来る様に機能訓練を実施しています。

行事は恒例の観桜会に始まり、納涼祭・敬老会・クリスマス会等、季節に合った行事を行っています。定期的な買い物行事も行い好評です。毎月誕生会も実施し、ケーキとプレゼントでお祝いしています。

施設内の装飾も利用者様に手伝って頂き、季節を感じられ目で見えて喜んで頂き、雰囲気を感じられる物を飾っております。個人製作もこいのぼり・カーネーションの壁掛け等、簡単に楽しく出来る物を考え製作して頂いています。

今後も地域の皆様にも支えられながら業務出来る様、頑張っております。

みどりヘルパーステーション

みどりホームとの連携について

現在訪問介護にてみどりホーム入居者様へのサービス提供を行い、サービス提供時間以外はみどりホームの非常勤職員としてその他の業務を行っている為、ホーム・ステーション共に情報の共有が必要となっています。H29年度はみどりホーム・ステーションと合同の実地指導がありましたが、大きな指摘事項もなく、以後それに準ずる形にて対応出来ています。今後も連携を密に不備の無い様健全に進めていきたいと思っております。

職員目標・取り組みについて

体制も整い日々の業務の流れとしてはこなす事が出来ている状態ではありますが、虐待や介護事件が大きく取り上げられる昨今、思いやりという点で基本に立ち返り、接し方・コミュニケーションの取り方を見直し、利用者様の視点に立った考え方、より良い対応が出来る様、又、御家族様にも安心して利用頂ける様職員指導・環境雰囲気作りに取り組めます。技術面では今後も外部研修、事業所内での勉強会を通して、様々な場面に対応出来る様技術の向上に努めます。

みどりホーム

入居者様、御家族様に支えられ、お蔭様で7周年を迎える事が出来ました。
自立から重度の方まで入居頂いておりますが、安心して安全に過ごして頂ける様に、入居者様との関わりを大切に、日常生活の中での気付き・状態の把握・医療との連携により、看取り介護や緊急時の対応等もスムーズに行える様になりました。

災害対策としまして、避難訓練に加え、停電訓練や不審者対応の訓練を行い、役割分担とバルーンライト・インバーター・発電機の使用方法の確認をして備えています。

入居者の皆様に季節を感じて頂ける様に四季折々の飾り付けをしています。
又、お花見等の外出行事や施設内での敬老会・食事会・クリスマス会は大変好評で、皆様には喜んでご参加頂いております。

今後も入居者様・御家族様のお話を傾聴し、関わりを大切に参ります。